

# 山北地区まつりイベント情報

～ 地区内の各地域で開催されるまつりイベント情報を紹介します ～

## 「小侯宿そばまつり」開催

夏から小侯集落で「そばづくり」に参加された皆さんと、集落の皆さんで開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

■開催日時 平成28年11月20日(日)  
午前11時～  
※午後1時までお入りください

■会場 小侯集落センター  
(日本国ふれあい処「小侯屋」)

■募集定員 100人  
■参加費 一人1,000円  
新そばと、郷土料理を提供します。

■申込み先 参加の場合は、11月11日(金)まで  
以下へ事前に申し込みください。

小侯ふるさと楽校 校長 佐藤 庄平  
電話 0254-76-2034



## さんぽくムービーフェスティバル

山北地区内の小学生が昨年と今年「さんぽく子ども映画塾」で撮影した自主映画の上映会を開催します。多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

■開催日時 平成28年11月26日(土)  
午後3時～午後5時ころまで

■会場 さんぽく会館 集会室

■プログラム

- ①さんぽく子ども映画塾2016 ドキュメンタリー
- ②さんぽく子ども映画塾2016 作品上映
- ③さんぽく子ども映画塾2015 作品上映

「レッツゴーさんぽく探検隊  
～不動明の化身と山北の宝～」

- ④にいがた映画塾 西条監督作品 オール山北ロケ、山北地区の皆さん出演作「イロイロアンビリーマジョー」

お問合せは：山北地区まちづくり協議会事務局  
村上市山北支所内 電話：77-3111 (122)



編集後記

実りの秋。10月中旬、私の集落ではそば刈りをしました。減反田を活かして作付したのですが、収量は、昨年より耕作面積を減らしたので少なめでした。でも、作柄は上々、夏場の晴天が影響したのでしょうか？

減反田と言えば、耕作をやめた田畑に今年も目立つ黄色い花「セイタカアワダチソウ」。繁殖力が非常に強く、根っこを抜かないと根絶できないとのこと。先日、高速道路を利用して新潟市内まで出かけたのですが、道路わきの法面も一面黄色。旺盛な繁殖力を目の当たりにし、昨今よく言われる在来種の存在が心配となっている今日この頃です。

# さんぽくまちづくり通信

第 16 号

発行 山北地区まちづくり協議会

発行日 平成28年(2016年)11月1日

事務局 村上市 山北支所 地域振興課 自治振興室 (住所) 〒959-3993 新潟県村上市府屋 232  
(TEL)0254-77-3111 (FAX)0254-77-2217 (E-mail)s.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp



6月15日付け発行の「さんぽくまちづくり通信第14号」でご紹介しましたが、今年度は「山北地区まちづくり協議会」の活動の基本となる「まちづくり計画」の改定の年です。

「計画策定」のために募集したプロジェクトメンバー13人とともに、これまでに取り組んできた事業の振り返りを行い、今後の事業展開のための分野別基本目標までを検討してきました。

まず、5つの部会で取り組んでいる56の事業の成果や現状と課題を各部会で自己評価し、そして、今後の方向性の確認、その後、プロジェクトメンバーで全部会の個別の事業評価を実施

しています。

具体的な取り組みが見られる事業については高い評価もありましたが、計画には上がっているものの、未着手で具体的な取り組みが無いものについては、やはり低評価となりました。

総じて、「事業が多すぎる」、「活動が分散化している」などの意見が多く出され、「取り組み事業の集約化」、そして「活動の主体となる部会の集約」が必要との意見が多く出されました。

今号では、新たな「まちづくり計画」のこれまでの策定経過と、今後の計画の方向性を皆さんにお知らせし、広くご意見をいただければと考えています。



# 新たな「山北地区まちづくり計画」策定の過程

それでは、新たな「まちづくり計画」の策定について、どのように検討し進めてきたのか、そして、これからどのように進めるのかをお知らせします。

## 【進め方】

- 5月 **各部会による事業の振り返り**
    - ・協議会の5部会の会議開催
    - 各部会で実施した56事業を振り返り、成果や現状課題、今後の方向性を各部会でまとめる
  - 6月 **まちづくり計画策定プロジェクトメンバー募集**
  - 7月 **まちづくり計画策定プロジェクト立ち上げ**
    - ・第1回計画策定プロジェクト
    - 各部会から2名、一般から3名、計13名のメンバーで立ち上げ。成果を踏まえ現状課題を確認
  - 8月 **実施事業評価**
    - ・第2回計画策定プロジェクト
    - 実施してきた56事業を1～5段階（5が最高）で評価。今後の計画方針の指標となる
  - 9月 **新たな計画の方向性検討**
    - ・第3回計画策定プロジェクト
    - 新たな重点施策と今後取り組む基本方針を検討
    - ・協議会役員会で検討
    - 重点施策と取り組みの基本方針検討
  - 11月 **まちづくり通信第16号により意見募集**
- 
- 今後の予定
- 12月 **新たな組織体制の検討**
    - ・第4回計画策定プロジェクト
    - 新たな組織体制の検討
  - 12月 **協議会役員会において新組織体制の検討**
  - 12月 **新たなまちづくり計画（案）の検討**
    - ・第5回計画策定プロジェクト
    - 新たなまちづくり計画（案）の検討
  - 1月 **まちづくり協議会役員会、まちづくり計画（案）の検討**
  - 2月 **まちづくり協議会理事会**
    - まちづくり計画（案）審議
  - 3月 **新たなまちづくり計画承認・周知**
    - ・地域づくり楽習会
    - 新たなまちづくり計画（案）の周知
    - ・通常総会
    - 新たなまちづくり計画（案）の承認

～実施事業の評価から～  
5段階評価の平均は、3.03ポイントでした。以下に評価と共に寄せられた、各プロジェクトメンバーからのコメントを紹介します。



事業が多すぎるよね、できるところに重点を置いて実施したほうがいいね  
そして、もう少しコンパクトにまとめ事業を実施したほうがいいね

5つの部会間の連携が必要だね  
そして、若手も意見を交換する場があるといいね



他の団体とコラボ、連携できるような事業が多くあるわね  
人手が少ない現状だから、複数の事業を絡めて実施したほうがいいわね  
そして、参加者の奪い合いにならないよう実施したほうがいいわね



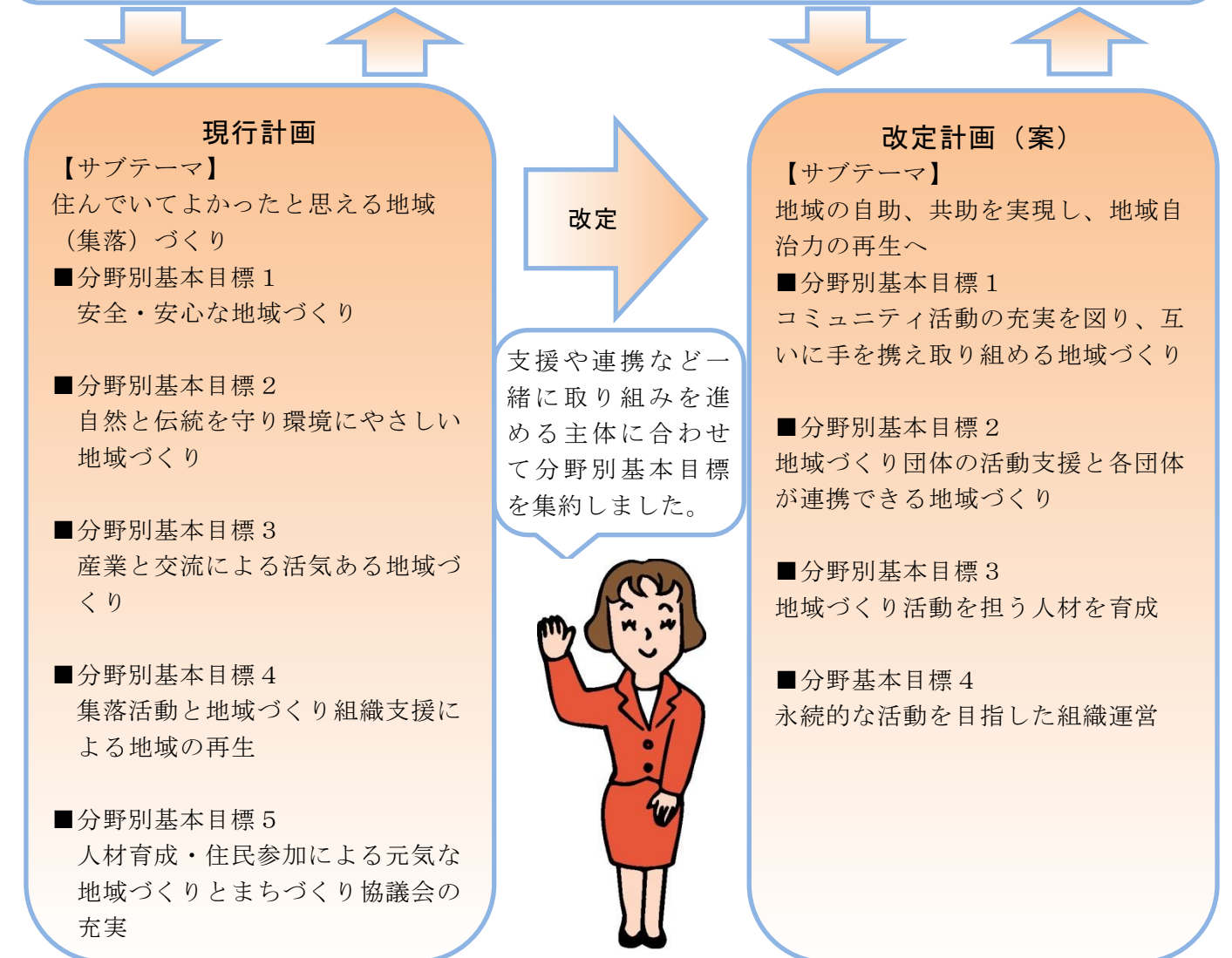
以上の評価や意見を踏まえ、新しい計画の方向性を見出しました。

# 新たな計画づくりの方向性

次に、これまでの取り組みを踏まえ、次期計画については現行の基本目標は改定をせず「具体的な施策をどのように展開する事がこの地区にとって最善なのか」を検討していきます。

## 基本目標：定住の里づくり

基本理念については、平成元年に策定され皆さんと取り組んできた「山北町観光開発基本計画」を踏襲し「日常生活を基本資源とし、住民一人ひとりが主役となれる地域づくり」を目指すこととしています。



今後、上記の分野別基本目標の達成のため、活動の核となる各部会の再編や事業内容の精査など、具体的な活動を策定していく予定です。

新しいまちづくり計画は、現在の活動内容を集約し、地域の皆さんがより感心を持ってまちづくり活動に取り組み計画づくりを進めようと考えています。そのため、広く皆さんから意見を募集しています。「サブテーマの考え方や分野別基本目標ってなんだろう？」あるいは「具体的な取り組みについて」など。ご意見ご質問のある方は以下までご連絡ください。

山北地区まちづくり協議会 事務局：村上市山北支所地域振興課自治振興室  
TEL：0254-77-3111 FAX：0254-77-2217 E-mail：s.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp